

第二十三回 平安神宮古武道奉納演武大会

大会進行委員長 目黒 信良

平成二十七年十月二十五日（日）晴天秋晴れのもと正午より平安神宮古武道奉納演武大会が開催される。

正午より平安神宮祈願参拝を済ませ午後一時額殿にて開会式・演武と進む。

参加三十七団体 百五十六名と前回より少なき感がありましたが、大会役員の先生方々の役割を把握された御働きにより進行も大分滑らかに進めることが出来ました事、感謝致します。

過去を踏まえ、法人理事の先生方々が理事会にて検討を加えられた良さが大会毎に改善されて来ており今回も四項目・その一に演武上の注意がキチンとプログラムに明記されし事・その二に検証委員のタイムテーブルが作成され各委員に手渡されし事・その三に演武プログラムの順番組み合わせが大分良くなり、各団体の会場割り振りがやり易くなりし事・その四に国旗 会旗が掲げられ、大会の格式が高められし事。

演武時間の決まりも参加の先生方に大分理解され、一・二の団体を除きほぼ時間通りに進行され良い傾向となつて来ておると思われます。

短い時間内で最高の演武を行う、これぞ武道の真剣勝負！緊張感の中に凝縮された技の披露は、見る側にしても息が抜けず双方息がピタ

りと交わる瞬間であると思われます。

尚、私個人的に関心を持つて拝見させていただいている居合演武で名前、男女の別は伏せませんが錬士の方の演武が、ここ数年回を重ねる毎に素晴しくなり、おそらく武道としての居合に高めるべき稽古をされておるのだろうと思われる節が見受けられ、今後御自身の中に武道居合として昇華されるものと期待をさせていただいております。

最後に私を省みますれば進行上の不手際が有りまして汗顔の至り!!
前向きに捉えて 自身に!! 喝!!
合掌

